

你好

中国語を学ぶ会
平成16年10月発行 第23号
連絡先 Tel 33-3177
神 山 Fax 32-5594

特集！ 中国語でしゃべらないと

3年も5年も10年も中国語を勉強しているあなた！
中国語でしゃべりたいと思いませんか？
会話ができるようになりたいと思いませんか？

あなたはどのように中国語を学んでいるのですか？

人生いろいろ、学ぶ理由もいろいろだと思いますが、大方の人は中国に興味や関心を抱いて習いはじめたのだと思います。

それではあなたが中国語を学ぶ目的はなんですか？文章が読めるようになりたいからですか？会話ができるようになりたいからですか？

その両方だという方もいるでしょうが、ただなんとなくというような無目的の人はこの際無視することにします。

今の学習法に満足していますか？

今の学習法はあなたにとってピッタリだと思っけていますか。貴重な時間を費やして学んでいるのだから出来るだけ自分の目的に近い方法で勉強しようではありませんか。

基本は会話から……

小さな子供は字が読めなくても大人の会話を耳で覚え、3～4歳になると大人と会話出来るようになります。そしてひらがなを覚え、漢字を習って本が読めるようになっていきます。初めに会話があり、その会話を出発点にして学んでいくのです。私たちは幼児ではありませんからこの方法をそっくり取り入れるわけにはいきませんが、基本的な考え方は同じではないでしょうか。

コミュニケーション能力を高めよう

巷に氾濫する英語の教室や通信教育では「話せるようになる」「聞き取れるようになる」をキャッチフレーズにして生徒を集めています。つまりそれほど日常会話が出来るとなりたいと望んでいる人が多いことを示しています。

中国語の文章を読みこなすことも大切です。しかし如何に文法を理解し単語を覚え、難しい文章を読めたとしても、いざ会話となるとさっぱり自信がないのではなさないと思いませんか。TOEICやTOEFLだけを目指した戦後の英語教育が見直され、小学校にも外人の教師を招いて英会話を取り入れている学校が増えてきています。

外国語を学ぶからにはやっぱり会話ができるようになることが一番大切なのではないのでしょうか。

漢字を知っていることが災いし

私たちは幸か不幸か漢字を知っています。これは中国語の文章を読むためには極めて有用な能力ですが、中国語を学ぶ時には文字に頼りすぎてしまうという欠点にもなります。

中国的新学期从秋季开始，每年的9月开学。

という文を見れば、たとえ正しく読めない字があったとしても「中国の新学期は秋に始まり、毎年9月に始まります」という大まかな意味は判ります。

さて老師がこれと同じことを言葉で言われたとしたら、中国とか开始・毎年など耳慣れた単語は聞き取れたとしても文字を見たときと同じようには理解できなかったのではないかと思います。

それでは zhōngguó de xīnxuéqī cóng qiūjì kāishǐ, měinián de jiǔyuè kāixué. のようにピンインだけで書かれた文章を理解できますか。

考えてみれば、これは英語などの横文字を学ぶ場合と同じだとは思いませんか。

The new term starts in autumn(fall).

Xīn xuéqī cóng qiūjì kāishǐ

この二つを較べてみてください。英語と中国語ピンインの違いはあっても同じ意味の言葉です。英語の term を漢字に変換しようとしてもできません。だから term という音を聞いてその意味を覚えるしかありません。

xuéqī は学期と漢字に変換し、文字と音とで理解することができます。日本人にとっては便利だし覚え易いと思います。

けれども、文字に頼りすぎてしまい「xuéqī」と聞いた時に真っ先に思い浮かぶのは「どういう文字だろうか？」ということではないでしょうか。そして「学期」だと判ると「なーんだ、そうだったのか」と納得する。

これは教室でよく経験することではないかと思います。文章を読むときには漢字の判る日本人にとって、たとえ正しい読み方ができなくてもその意味はだいたい理解できることが多いと思います。

しかし会話となると音だけが頼りとなります。いちいち漢字を思い浮かべている暇はありません。英語を覚える時と同じように音で覚えていかなければならなくなります。

NHK のテレビ番組に「英語でしゃべらない」という番組があるのをご存知ですか。しばらく前に本屋に同名の雑誌があったので買ってみました。アメリカで活躍するプロゴルファー青木功さんはこの雑誌の中で「主語とか述語とか考えていたら話せませんよ、恥ずかしいけれど僕、英語の読み書きはできないんです。でも、単語の順番が違っていても、とにかくしゃべる。目を見て、伝えたいという気持ちでしゃべる。そうすれば必ず伝わりますよ。黙っていたら何も伝わらない」と言っていました。ジャズシンガーの綾戸智絵さんはホテルのフロントでタクシーを呼んでもらおうとして「Call me taxi!」と言ってしまったそうです。翌朝ホテルのスタッフに「Good morning Ms. Taxi」と笑われたり、時計が壊れたので近くの人に「My watch stopped」と言ったら「Doesn't it work?」と聞き返されて表現方法を会得したりなどの失敗談が載っていました。とにかく、恥ずかしがらないこと、ミスを気にしないこと、考えたことを外国語で表現する習慣をつけることが大切なようです。

中国語で会話をしたいと望んでいる人にとっても参考になる話だと思います。中国語を学ぶ会でもそろそろ会話を取り入れても良いのではないかと考えています。それでは次にその方法を一緒に考えてみましょう。

大胆な提案

ここはよく読んでください

中国語でしゃべりたい人のために大胆な提案をします。現在の「中国語を学ぶ会」は初級だとか中級だとか一応3班に別れていますが、今やその学習内容はそれほど差がなくなっているのではないかと思います。

そこで、現在の班編成をがらりと変えて従来同様の「教科書中心に学ぶ班」と「会話を中心に学ぶ班」とに分けて編成し直してはどうかという提案です。

せっかく知り合った仲間と和気あいあい学ぶのも楽しいでしょうが、この際思い切って大胆に改革してみることも必要だと思います。

3班のうち一つを会話班にして、残る2班を今までのような学習方法の班として勉強するわけです。

会話を勉強してみたいという人を募って班を編成しますが、応募者が少なすぎる場合は残念ながら取りやめざるを得ません。逆に多すぎる場合は会話班を二つにしても良いのではないのでしょうか。

例えば会話班を選んだ人でも、さらに別の教室で受講できることは今までと変わりませんから会員の皆さんにはマイナス面は生じないと考えます。

今や「冬ソナ」ブームでNHKのハングル講座のテキストの売上げが激増しているそうです。韓国へ旅行したい、そして一言でも話してみたいという気持ちの現われです。

中国語を学んでいる私たちとしても、你好、谢谢、再见だけではなんとも恥ずかしいかぎりです。と言っても中国に留学したり、会話学校に通ったりするのはそう簡単ではありません。そこで中国語を学ぶ会を大いに活用して少しでも話せるようになるうではありませんか。

如何ですか？ 各教室でこの提案を話し合ってみてはいただけませんか。

皆さんの中で検討の余地ありというご意見が多ければ、役員会の討議を経て具体案を作りご提示いたしたいと思います。

話はがらりと変わりますが、過日のアジアカップでの中国人サポーターの無礼な態度にはまったく頭にきました。スポーツに政治問題を持ち込み、反日感情をむきだしにし、日本の国歌演奏時にわめきたて、日本人観客に物を投げつけ、日の丸を燃やし、日本公使の車に投石してガラスを割り、選手やサポーターたちは2時間余も会場に足止めされたのです。

こんなことで中国は4年後にオリンピックを開催する資格があるのだろうかと思っています。

中国が好きで中国語を学んでいる者の一人として悲しい限りです。しかし北京奥运会までには中国も変わるでしょう、いや変わらざるを得ないでしょう。

そのことを期待して、北京オリンピックを私もぜひ見に行きたいと思っています。その時までには中国語を話せるようになりたいものです。片言でもいいから中国の一般市民と会話をしてみたい、買い物で思いっきり値切りたい、日本の選手のために「加油！」って大声で応援してみたいと夢はふくらんでいます。皆さんもこれからの4年間一緒に頑張って会話を学んでみようではありませんか。

未来の花嫁が抹殺されている

恐ろしい表題ですが実際に起きていることなのです。

一人っ子政策がとられている中国では、どうせ一人しか生めないのであれば男の子が欲しいという親が増えているという。

超音波検査の普及で、親が胎児を人工的に選別できるようになり、出生児の男女比の不均衡はさらに高まってきている。

「胎児の性別診断を厳禁する」という法律があるにもかかわらず、中絶手術が後を絶たず未来の花嫁が殺されてしまうのだ。

2000年に行われた人口調査では、新生児の男女比は117対100だった。正常値

である105～107対100を上回っており、中でも海南省では135対100と深刻な状態を示している。2020年頃には3～4000万人もの適齢期の男性が結婚できなくなると専門家は指摘している。

妻を迎えられない数千万人の独身男性は、将来社会の不満を先鋭化させる危険な集団となる可能性を秘めているとも言われている。

性別の極端なアンバランスは、売買婚、女性の誘拐、買売春といった犯罪や、いろいろな社会問題を引き起こしかねないと心配されている。男性を減らす為に戦争を起こすなんてことにならなければ良いが、などと考えるのは私だけの思いすごしだろうか。

簡単にできる「中国家庭料理」

gā lí jiǎo

今回は 咖喱餃 をご紹介しましょう。

用料

面粉 油 水 牛绞肉 洋葱 蛋黄

调味

盐 咖喱粉 糖

做法

1. 用文火将咖喱粉炒香，再加入洋葱末，牛绞肉及盐，糖，炒熟为馅料。
2. 面粉加水拌成面团，擀成饺子皮，用饺子皮包馅料，做成饺子状，表面刷上蛋黄，入烤箱烤至金黄可。

材料

小麦粉 油 水 玉ねぎ 卵の黄身

調味料

塩 カレー粉 砂糖

作り方

- ① とろ火でカレー粉を香ばしい香りが出るまで炒める。玉ねぎのみじん切りと牛肉のミンチ、塩、砂糖を加えてよく炒めて餡にする。
- ② 小麦粉に水を加えこねて丸め、餃子の皮の形に麺棒で伸ばす。できた餃子の皮で餡を包み、餃子の形に包む。表面に卵黄を塗り、オーブンで黄金色になるまで焼く。出来上がり。

カレー味のぎょうざ・・・どんな味がするのでしょうか、ひとつ試してみてください。茹でるでもなく、オーブンで焼いたりしておいしそうですね。

料理などしたことのない筆者ですが、このレシピには材料などの分量がありません。腕の見せどころとなりそうです。左側の中文の部分も読んで勉強に役立ててください。オーブンを 烤箱 kǎoxiāng というなんて面白いですね。

中国語の語順はむずかしい

以前に「中国語で作文をするとき、頭を悩ますのが語順である」というような投稿がありました。中文は日本語とも英語とも違うし、どういう語順で書いたらよいか確かに迷ってしまいます。ここで初心に帰って文の構成について一緒に考えてみましょう。

文は主語と述語で構成されていることはご存知だと思います。その述語の殆どは動詞ですが、その動詞に修飾語や目的語・補語などが付いてくることが多いのでこんがらがってしまうのです。ここでちょっと整理をしてみましょう。

単文は述語の性質によって次の四つに大別することができます。

1. 動詞述語文 2. 形容詞述語文 3. 名詞述語文 4. 主述述語文

1. 動詞述語文は動詞を述語の主成分とする文で（以下主語に＝ 述語に― を付ける）
李老师 笑了。 李先生が笑った のような単純な文となります。

2. 形容詞述語文は形容詞を述語の主成分とする文で

píng zhǒng de hǎi àn hěn gān jìng

平冢的海岸 很干净 平冢の海岸はとてもきれい（清潔）だ。

3. 名詞述語文は名詞を述語の主成分とする文で

今天 七月七号 我 日本人 のようになる。

4. 主述述語文はちょっとややこしいが、主述連語（述語の中にさらに主語と述語がある）を述語の主成分とする文で

这个电影 我看过了 この映画は私は見てしまった。

我看过了という述語の中にさらに我という主語と、看过了という述語がある。

さてさて、上例のような単純な文ばかりではありません。

それでは動詞述語文についてももう少し詳しく考えてみましょう。

她笑了。これは主語と述語の組み合わせですが、この動詞に目的語がついたらどうなるでしょうか。

1. 主語＋動詞＋客語（目的語）（目的語に……を付ける）

我们 学习 中文。 他 很喜欢 樱花。 のようになります。

さらに述語動詞が二つの目的語を持つことがあります。

李老师 教 我们 中文。

2. 述語動詞に修飾語が付く場合があります。

主語＋状語（副詞的修飾語）＋動詞＋目的語

她 非常 喜欢 跳舞。 我 已经 做完了 作业。

だんだんややこしくなってきましたね。

3. 目的語に補語が付く場合があります。

主語＋動詞＋目的語＋補語

我 去过 上海 两次。 私は上海に二度行ったことがある。

上の2のように、動詞に修飾語が付くこともあります。

我 曾经(状語) 去过 北京 三次。

私はこれまで三度北京に行ったことがある。

4. さらに動詞に補語が付くと

主語＋動詞＋補語＋目的語

我 坐了 三个小时 飞机。 私は3時間飛行機に乗った。

我 看过 几次 中国电影。

いかがですか、ご理解いただけましたか？ そう簡単には判らないと思いますが動詞述語文を書くときには、上に説明した語順を思い出してチャレンジしてみてください。

機会がありましたら、また文法と一緒に勉強いたしましょう。

杏仁豆腐

アンニンドウフは中華料理のデザートとして有名。あの真っ白な色合いと、とろりとした舌触り、ほのかな甘みがたまらい。

杏仁豆腐とは中国語では **xíng rén dòufu** と読みます。杏は文字どうりアンズ、仁はアンズの種の核のことである。

アンズの種を割って核の中身をすりつぶし、白いエキスを寒天で固めたものが杏仁豆腐である。

今は杏仁霜 (**shuāng**) というパウダーがあって、簡単に作れるようになっているそうだ。

面

豊葦原の瑞穂の国・・・なんて書きだしても年轻人には馴染みの少ない言葉かも知れないが水資源に恵まれた我が国の主食といえば水稲すなわち米である。中国の北部のように水田の少ないところでは専ら高粱やとうもろこし、小麦などを主食としてきた。その小麦を粉にしたものが「面粉」 **miànfěn** である。我が国で小麦粉で作るものといえば「うどん」などの麺類が中心で、西洋ではパンが作られる。中国では餃子や面条 **miàntiáo** が主役となるのではなかろうか。

無人バス

無人バスといっても運転手や車掌がないバスのことではない。上海のバスには普通、運転手と「售票員」が乗っているが、最近、「无人售票车」が増えているそうだ。このバスは前のドアが入り口で、真ん中のドアが出口になっている。

乗るときに運転手の横にある料金箱に1～2元の料金を入れることになっている。両替機がないので、小銭がないときにはどうしたらよいのだろうか。そんなときは運転手に5元札又は10元札を見せながら私は小銭の持ち合わせがありませんとアピールする。

杏仁豆腐は一般に食後のデザートとして食べられているが、本来は食事の中間に食べるものであって、甘酸っぱいスープで胃を刺激して食欲を増進し、油でなまっただの中を洗い流すためにたべるもだと言われている。毎年「中国語を学ぶ会」の「餃子を作る会」に星期四班の佐藤さんが手作りの杏仁豆腐を差し入れてくれる。評判がよくて、あつという間に売切れてしまうから来年は早めにいただいておいた方がよさそうだ。と書くと、なにかまた催促しているようにも聞こえるが佐藤さんよろしくをお願いします。

そのほか、烧卖 **shāomai** 春卷 **chūnjuǎn** 油条 **yóutiáo** 煎饼 **jiānbǐng** など数え切れないほどの食べ物が作られる。烫面 **tàngmiàn** とは熱湯でこねた小麦粉のことで、これにイースト菌を加えて醗酵させた小麦粉を发面 **fāmiàn** と言う。この发面を使って作ったものが馒头 **mántou** や包子 **bāozi** となるわけだ。

最近、日本各地にご当地ラーメンなるものが出現し覇を競っているが、食事はやっぱり真っ白いご飯に味噌汁、納豆・焼き海苔・鰻の開き・梅干、これにまぐろの刺身が付けば言うことなし。

そして料金箱のそばに立ってバスがバス停に停車するたびに料金箱の上に手をかざして投入口をふさぐようにして、乗車してくる客の料金を頂戴する。釣銭に見合う金額が集まったら運転手の眼を意識しながら10元札を入れ、釣銭をポケットにしまい込むということになる。

この方法は上海のバス社会では暗黙の了解事項となっているそうだ。乗ってくる人がいなかったり、釣銭に満たなかったりしたらどうするのだろうと要らぬ心配をしてしまう。

北京トイレ事情

中国を訪れる外国人、特に女性に最も評判が悪いのはトイレである。

大都市の飯店だけを見れば立派で清潔だが、首都の北京でさえ公共施設の汚さは眼に余るものがあった。

4～5年前のことだったが、琉璃廠の通りに面した男性用公廁を利用したときのこと、中には高さ1メートル近い木の樽が三つ並べて置いてあるだけだ。しかしその何れもが満杯で溢れ出た尿で床はビショビショ。

北京でさえこの有様だったから、地方へ行ったら飯店以外では水洗などめったにお目にかかれない。

田舎道を走っていてトイレ休憩するのはほとんどがガソリンスタンドだ。四川省の山道では谷川の上にはみ出すように作られたトイレを使ったことがある。もちろん吹き抜けだから、下は千尋の谷底が丸見えだ。とても気分爽快などと洒落てはいられない。

5+2 生活

ますます貧富の差の広がりを見せる中国で、二軒三軒と不動産を所有する金持ちが増えている。他人に貸して家賃収入を得るのが目的の人も少なくないが、多くは職場の近くや交通の便の良い中心部にある自宅の外に、空気の良い郊外にセカンドハウスを構えるのだ。

あるエリート白領の彼女は会社から分配された部屋を持っているが、さらに郊外に一戸建てを買った。会社までは車で2時間以上かかるので、そこを使えるのはせいぜい週末に限られる。

独身の彼女にとってかなり思い切った買い物だけれども、週末にドライブしたりピクニックへ出かけたりする生活が流行し始めた北京の人の中でセカンドハウスを購入する20代30代が増えているという。

雑誌などでも「5+2」生活と題してウィークディの5日間とセカンドハウスで

2008年の奥运会を控えて北京では大規模な公廁の建設整備が行われていることは前にも書いたことがある。

ところが、そのデザインや設備が次第に豪華になる一方で、中には建設費が百萬元を超えるものまで現われてきた。その内装たるや一般市民の生活レベルから遠くかけ離れたものになってきた。天安門広場の東に建てられた公廁などは彩色电视(カラーテレビ)や电脑(パソコン)まで備えられ市民の間からも非難の声があがっているという。

このため、北京市政府は基準を超える豪華な公廁の建設は中止するよう指示を出したそうだ。

こんな立派なトイレを誰が作っているのだろうか。まさか私営ではないだろうか。公金を使つての建設だとすれば、役人が業者と結託して賄賂を貰っているのだろうと勘ぐりたくもなってくる。

の週末2日間のライフスタイルを特集している。

また最近「产权酒店」の広告が目につくようになった。「財産権付きホテル」とでも訳せばよいのだろうか、コンドミニウムスタイルのホテルのことで、この产权酒店に投資することによってホテルに部屋を持つことができ、自分が使うとき以外はホテル側が管理し、他のゲストを泊めることができる。そしてその宿泊費の一部を受け取り利益を得ることができる。

产权酒店は北京郊外、北戴河、海南島など山の中や海辺のリゾート地に多いという。

日本にもバブル崩壊以前には似たような話があったけれど、当時の別荘は投売りしても買い手がつかない状態だそうだ。中国の好景気はいつまで続くのだろうか。あと数年で破綻が訪れるなどと評する専門家は多い。

29日、北京のカナダ大使館に脱北者44名が駆け込む

9月1日の北京日本人学校への脱北者29名駆け込み事件に引き続き、今回の44名は過去最高の人数となる見込みで、今後の取り扱いが注目されている。

同日のNHK中国語webページでは次のように伝えています。そのまま転載してみますから読んでみてください。

44人翻墙进入北京加拿大驻华大使馆

今天下午，被认为是逃离北朝鲜的44人翻墙进入了北京的加拿大驻华大使馆，其中包括一些妇女和儿童。对此，加拿大驻华大使馆正在和中国当局等进行协商，希望从人道主义出发找到解决问题的办法。

事件经过是这样的，今天下午2点半过后，被认为是逃离北朝鲜的几十人在位于北京市市中心的加拿大驻华大使馆高达3米的围墙边搭起了梯子，并通过梯子纷纷翻过围墙进入了使馆驻地内。

根据加拿大驻华大使的消息，翻墙进入大使馆的共有44人，其中有妇女和儿童，有些人在翻墙时受了伤。其中的几个人已经被确认是北朝鲜人。

加拿大驻华大使馆已经开始与中国当局等进行协商，希望从人道主义出发找到解决这个问题的办法。

第二十三号の編集を終えて

記録的な暑さだった夏もいよいよ終わりを告げ、紅葉の便りが届く季節となり、今年もいよいよ残り三ヶ月となつてしまいました。

さて「出る杭は打たれる」という諺がありますが今回は敢えてちよつとでしゃばらせていただき「大胆な提案」という特集を組ませていただきました。

与えられた課題、敷かれたレールの上だけを走るのとは簡単に楽な方法だと思いません。けれども長年続いたしきたり（学習法）に必ずしも満足できない人、中国語で会話ができるようになりたい人、だけに言い出す機会が見つからず躊躇している人を代弁して提案することにいたしました。

外国語を勉強していたら「会話する」ということは最初にして最後の目的ではないかと考えます。

これを機会にそのほかの希望・要望などが続々と提案されることも期待しております。私たちの「中国語を学ぶ会」なのでですから遠慮は要りません。学び易く実りの多い会へと育て発展させて行こうではありませんか。

今回は投稿の締切日になつてもまったく原稿が集まりませんでした。苦肉の策として日ごろ考えていたことを中心にしてまとめ上げました。

次号は「正月号」として新年に発行したいと思えます。今度こそは気楽にたくさんの方の投稿をお願いします。原稿は十二月上旬までに出してください。

投稿方法は筆記・フロッピー・CD・Eメール・ファックスなんでもOKです。